

百寿のお祝い 千葉キヨコさん(歌伊里前下)



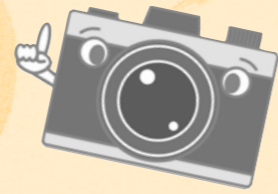
10月31日(火)に百寿を迎えた千葉キヨコさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

好き嫌いがなく、なんでも食べるそうで、特に甘いものが好きだそうです。

普段は塗り絵や編み物をして過ごしているキヨコさん。弟さんが北海道にいる妹さんのもとへ連れて行ってくれたことが思い出に残っていると嬉しそうに話してくれました。

お子さんが4人、お孫さんが8人、ひ孫さんが14人いらっしゃるそうで、ご家族もきつとご長寿を喜んでいることでしょう。

キヨコさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。



みなレポ

百寿のお祝い 須藤つや子さん(国平東)

11月1日(水)に百寿を迎えた須藤つや子さんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

地区の老人クラブの活動に積極的に参加されていたそうで、旅行に行ったことが思い出に残っていると話してくれました。

お若い頃は農業や漁業のお手伝いをされていたつや子さん。ご長寿の秘訣を伺うと3食しっかり食べて、規則正しい生活を送ることだそうです。

お子さんが3人、お孫さんが8人、ひ孫さんが7人いらっしゃるそうで、ご家族もきつとご長寿を喜んでいることでしょう。

つや子さん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

創立100周年記念式典



これまでの100年とこれからの100年を

11月2日(木)に南三陸高校(旧:志津川高校)で創立100周年記念式典が開催されました。大正13年(1924年)に「町立志津川実科高等女学校」として産声をあげた南三陸高校は、令和6年に学校創立100周年を迎えます。

式典には、全校生徒146人や教職員、教育関係者や関係団体などの約300人が出席しました。

式辞で難波校長先生は、大正時代からの歴史などを紹介しながら、「次の100年に向け、生徒には新たな伝統を築き上げてほしい」と述べました。

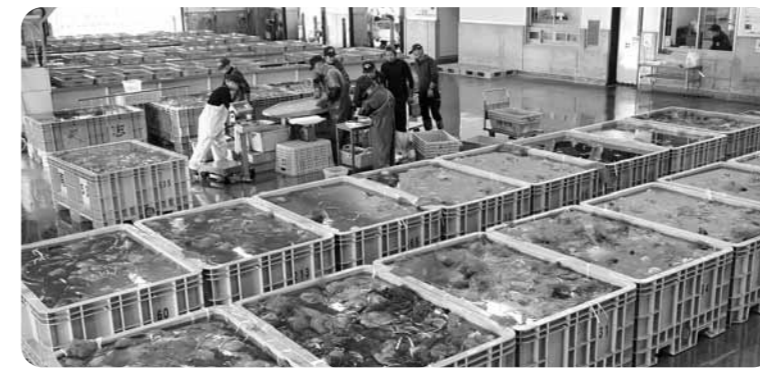
これまでの卒業生や旧職員の歴史と伝統を受け継ぎながら、新たな100年になるよう、町においても「高校魅力化推進事業」などをさらに加速させ、高校の魅力向上に繋げていきます。

A S C 認証取得を町長へ報告

10月13日(金)、A S C 認証取得の報告のため、宮城県漁業協同組合志津川支所の行場博文運営委員長とかき養殖部会の遠藤則昭部会長が町長を表敬訪問されました。

A S Cとは、環境に大きな負担をかけず、地域社会(人権や労働など)に配慮した持続可能な養殖業を認証する国際的な制度で、平成28年3月に戸倉漁場が日本で初めて認証されました。

今回、志津川漁場においての認証取得となり、遠藤部会長は「A S Cを取得したことで私たちの取り組みが環境保護や後継者の確保につながればと思っています。そして何よりもラムサール条約登録湿地である志津川湾産のA S C認証カキだということをPRしていきたい」と話されました。



町の名産! タコ漁始まる!

「西の明石、東の志津川」とも呼ばれるほど、タコの名産地として広く知られている南三陸町。11月1日(水)から志津川湾で一斉にタコ籠漁(マダコ漁)が始まりました。

アワビやカニ、貝などを食べて成長したタコは、しっかりとした歯ごたえと強い旨味が特徴で、毎年年末に開催される「おすばで祭り」の主役の一つです。

今年は、11月15日(水)時点で104トンのタコが水揚げされており、昨年の約4倍となっています。

今月29日(金)に開催される「第33回ラムサール志津川湾おすばで祭り」でも町内外から多くの方が買いに訪れることでしょう。



入谷小学校少年消防クラブの3名

くどう やまと 工藤大和さん
かんの こうた 菅野滉太さん
くどう ゆい 工藤結愛さん

私たちが火災予防を 呼び掛けました

今年も昨年に引き続き、少年消防クラブ員の音声を録音し、火災予防広報を実施しました。

今回録音したのは、入谷小学校の3名。この録音は、11月中の午前10時と午後3時の防災無線広報として放送しました。

担当した生徒たちは、「思ったより緊張しなかった」、「落ち着いて話すことができた」と話していました。

地元小学生の声で火災予防の呼びかけを行うことにより、家庭や地域における火災の発生を防止し、防火意識の高揚にもつながると期待されます。